



2024年9月5日
ベシス株式会社
代表取締役社長 吉村公孝
(東証グロース：4068)

2024年6月期通期決算に関する質疑応答集

この質疑応答集は2024年8月14日の2024年6月期通期決算発表以降に、投資家の皆様より頂戴した主なご質問とその回答をまとめたものです。回答内容については、時点のずれによって多少の齟齬が生じる可能性があります。直近の回答内容を最新の当社方針として回答を記載しております。

1. モバイルエンジニアリングサービスについて

Q. モバイルの減少については通信キャリアの投資抑制が原因ということですが、貴社が経営している中でこれまでの傾向などはありますでしょうか。

A. 傾向はございます。携帯電話の世代ごとに、通信事業者様が投資する時期と投資を抑える時期があります。例えば、第3世代(3G)の時は、2000年代前半から3Gインフラの投資が始まりましたが、2008年頃にインフラが行き届いたため、投資抑制が2008年、2009年頃にありました。その後、第4世代(4G)が始まり、2010年頃から4G投資が再開されました。そして、2015年頃に4Gの投資が抑えられ、2019年から2020年頃に第5世代(5G)投資が始まりました。2023年、2024年で再び投資が減少するという形で、7～8年周期で投資する時期と抑える時期が繰り返されるのがモバイル業界のトレンドとなります。

当社としては、過去の事例から直近の年度についてモバイル投資が減少することを予測しており、その減少分を他のビジネスでカバーするために、2024年6月期はIoTとIT等のその他ビジネスに注力してまいりました。

2. IoTエンジニアリングサービスについて

Q. IoTエンジニアリングが伸びているということですが、これまでは電気やガスの生活インフラ領域が要因だと思えます。今後の伸びしろとなり得る領域は何が予想されますか。

A. 弊社のIoTエンジニアリングサービスのターゲットは、全ての電気通信設備です。今後、通信機能がない電気通信設備がIoT化され、遠隔で制御される世界が広がると予測しています。その中で、現在は電気やガスのスマートメーターを主に扱っていますが、今後は水道のスマートメーター化にも取り組んでまいります。電気、ガス、水道のIoT化は進むと見ており、さらに電気自動車(EV)の充電設備やスマートロック、自動運転などの分野もターゲットとなります。

3. IT インフラ等のその他のサービスについて

Q. IT インフラ等のその他サービスにおいて、インフラ整備をされているということですが、データセンター事業などは検討されていますか？

A. データセンターは、現在の AI 普及の中で非常に求められているビジネス領域です。しかし、当社がデータセンターを作って運用するビジネスは、当社のビジネス領域外と考えています。当社はデータセンターを作る事業者様の支援を行っており、その他インフラ領域での支援を進めております。今後もデータセンターの運用支援等を当社のエンジニアリングサービスを通して、提供してまいります。

Q. その他のエンジニアリングサービスの注力ポイントを具体的に教えてください。

A. 具体的には、当社の主要顧客である通信事業者様（NTT グループ、KDDI、ソフトバンクなど）に対して、BtoB の領域でエンジニアリングサービスの提供を行っています。システムの導入には、クラウドサーバー（AWS や Azure など）のインフラ構築・運用、ネットワークインフラ（ルーターやスイッチなど）の構築・運用・サポートが必要です。当社のエンジニアが通信事業者様の対象部門に常駐し、各種プロジェクトのエンジニアリング支援を行っています。

4. クラウドシステム「BLAS」について

Q. BLAS を有償提供する企業数の今後の見通しを教えてください。

A. 2024 年 7 月末時点、有償提供を始めて約 6 か月で 5 社が活用しております。今後の計画としては、まず既存の取引先を対象に販売を進めていく予定です。

IoT のお客様は毎年増加しておりますが、当社の取引先はまだ数百社にとどまっております。例えば、その半数のお客様にご利用いただいたとしても、100 社から 150 社程度にしかありません。

まずは BLAS 自体の売上高が大きく伸びるというよりも、BLAS を導入していただくことによって、機器の設置に加えて、その前後の業務工程である監視や保守といったストック要素の高い領域もベシスが提供するサービスの一環としてお任せしたいと言っていただけるようなサービス拡充を進めていきたいと考えております。

したがって、BLAS の売上高が最重要ではなく、導入していただく社数、特に既存顧客における導入割合が非常に重要だと考えております。現在はまだ数パーセントですが、まずは 2 桁、将来的には過半数の既存顧客にご利用いただくことを目指しております。

BLAS を利用していただいたお客様から、機器設置以外の監視といったストック要素の高い BPO を取得することにより、総合的な業績拡大を目指してまいります。

導入社数についても現在は 5 社ですが、まずは 10 社、20 社と増やし、早い段階で 100 社に到達することを目指しております。

【2024年6月期 通期決算発表ご参考資料】

1. 説明動画 (2024年8月21日公開)
<URL> <https://www.youtube.com/watch?v=CqWk50QvMw8>
2. 書き起こし (2024年8月21日公開)
<URL> <https://pdf.irpocket.com/C4068/Rhyn/Mmp6/JNoq.pdf>
3. 説明資料 (2024年8月14日公開)
<URL> <https://pdf.irpocket.com/C4068/Rhyn/a979/KU06.pdf>

以上

【本件に関するお問い合わせ】

ベイシス株式会社 IR担当
メール問い合わせ先: ir@basis-corp.jp

○IRメールの配信登録ご紹介

IRニュースや最新情報をメールで受け取りたい方は、以下のリンクもしくはQRコードからお申し込みください。

<https://www.magicalir.net/4068/mail/index.php>



○代表取締役社長 吉村公孝のXアカウントご紹介

代表取締役社長 吉村公孝のXアカウントより定期的に会社情報等の発信を行います。ぜひフォローをお願いいたします。

以下のQRコードもしくは「吉村公孝@ベイシス社長」「@yoshibasis」で検索ください。

